

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	<b>【割掛 坑内仮排水設備】</b> トンネル延長 L=2449m全線にわたり、0.764%の突込み区間（高低差、約19m）であり、湧水にみあった、ポンプや排水管等の設備、ポンプを24hr稼働させる電力料が必要だと思われませんが、設備と電力料等の条件を明確にしていだけないでしょうか。	割掛項目 坑内仮排水設備の突込み区間における各ポンプの設備と電力料等の条件は下記のとおりとなります。 ・ φ80mm 3.7kw 44.9ヵ月 1台 ・ φ80mm 3.7kw 23.2ヵ月 1台 ・ φ80mm 1.5kw 8.9ヵ月 1台
2	<b>【インバートコンクリートの施工に関して】</b> 新得工事では、インバート打設箇所を通行できるように、移動式仮設栈橋を計上いただいていたのですが、本工事では不要だと考えられていますでしょうか。	ご認識のとおりです。
3	<b>【起点側坑門工一般図 47/171】</b> 明り巻工 L=18mの施工において、内型枠は本坑のセントルを転用する計画でしょうか。 それとも、本坑とは違う、新しいセントルを考えておられるのでしょうか。	貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
4	<b>【公共工事労務単価について】</b> 令和6年2月16日付にて、国土交通省より、令和6年3月から適用する公共工事設計労務単価が公表されています。 本工事においても、新しい労務単価を適用することでよろしいでしょうか。	土木工事等単価ファイルは、令和6年3月版を採用予定です。

番号	質問事項	回答
5	<p>【質問と回答⑥ 番号7 回答】            仮栈橋Bでリースを想定しているのは、以下の部材と考えてよいですか。            ・設計図66/88上部工(設置・撤去)の表にある部材すべて            ・設計図67/88その他の表 摘要欄に「設置・撤去」の記載がある覆工板および特殊覆工板また、ボルトナットは再購入と再利用のどちらを想定していますか。</p>	<p>HPに掲載（令和6年3月11日）している訂正公告の設計図 工事用道路 66/88をご確認ください。            なお、ボルトナットは再利用を想定しています。</p>
6	<p>本工事における最新の本坑掘削サイクルタイム表、避難連絡坑掘削サイクルタイム表（爆破掘削・割岩工法）、注入式長尺先受工サイクルタイム表の提示をお願いいたします。</p>	<p>サイクルタイムは公表致しませんので、貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。</p>
7	<p>数量明細表 番号172～174 路盤排水工の床掘・埋戻しは、積算基準どおり小規模機械構造物掘削（現場処理）であり、ずり出しは行わず、さらに埋戻しはないとの認識でよろしくご教示願います。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
8	<p>機械損料について、豪雪補正は行っているかご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
9	<p>上記質問に関して、機械損料に豪雪補正を行っている場合、坑外トンネル仮設備の機械損料は豪雪補正を行うかご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
10	<p>インバート埋戻し工に関して、埋戻し材は購入材との回答をいただきましたが、地山分類が積算基準に定められた材料以外のため、具体的な補助土工歩掛、敷均し能力、締固め能力、変化率Cをご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
11	<p>数量明細表 番号31, 32セメントモルタル吹付工について、数量算出要領4-2によれば、モルタル吹付工（SFS10）に該当すると考えられますが、本工事ではコンクリート吹付工（SFS11）との認識で良いかご教示願います。</p>	<p>モルタル吹付工を想定しています。</p>
12	<p>数量明細表 番号31, 32 セメントモルタル吹付工について、市場単価を採用すると考えられますが、北海道は単価が存在しません。単価をご教示願います。</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
13	<p>特記仕様書 P42 28-7-4 コンクリートブロック積工について使用するコンクリートブロックの仕様をご教示願います。            （高〇〇×幅〇〇、〇kg/個、〇個/m<sup>2</sup>）</p>	<p>積算に関する質問についてはお答えできません。</p>
14	<p>特記仕様書 P43 28-7-6 ふとんかご工について施工区分はスロープ式、階段式のどちらになるかご教示願います。</p>	<p>設計図をご確認ください。</p>
15	<p>設計図 のり面工 2号補強土壁工 構造図 (1) (2) (3) で図面にはコンクリート基礎工HAとコンクリート基礎工HA(F)が混在しています。どちらが正しいかご教示願います。</p>	<p>2号補強土壁工はコンクリート基礎工HAとなります。</p>

番号	質問事項	回答
16	設計図 のり面工 4号補強土壁工 構造図で図面に記載されている数量表内の調整コンクリート工は、帯鋼補強土壁Cに含まれるとの認識でよいかご教示願います。	4号補強土壁工の調整コンクリート工は、補強土壁工 帯鋼補強土壁Cに含まれます。
17	数量明細表 番号53～56 継目工における目地材撤去の歩掛をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
18	数量明細表 番号53～56 継目工における防水シート設置の歩掛をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
19	数量明細表 番号53～56 継目工における防水シート設置の歩掛をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
20	数量明細表 番号56 継目工IV型の歩掛をご教示願います。	積算に関する質問についてはお答えできません。
21	金抜設計書 単価表57 コルゲートパイプ1R-Φ1.50・t=2.7(A)において、パッキングの有無をご教示願います。	パッキングは有りとなります。
22	金抜設計書 単価表58 コルゲートパイプ1R-Φ1.50・t=2.7(C)において、パッキングの有無をご教示願います。	パッキングは有りとなります。
23	金抜設計書 単価表59 コルゲートパイプ1R-Φ1.50・t=3.2(A)において、パッキングの有無をご教示願います。	パッキングは有りとなります。
24	金抜設計書 単価表60 コルゲートパイプ1R-Φ1.50・t=3.2(C)において、パッキングの有無をご教示願います。	パッキングは有りとなります。
25	金抜設計書 単価表61 コルゲートパイプ2R-Φ1.50・t=3.2(C)において、パッキングの有無をご教示願います。	パッキングは有りとなります。
26	特記仕様書P29「24. 現場環境改善に関する事項」において、「本件に関する費用については、諸経費に含むものとし、別途支払いは行わない。」と記載されています。 諸経費に含むとは、率計上分で現場環境改善費を計上するという認識でよいかご教示願います。	ご認識のとおり、項目番号219「諸経費①」に含みます。
27	参考図21/40 避難連絡坑施工次第図 (1) の中段[制御発破工法]において、ホイールジャンボと油圧クローラドリルが図面中にありますが、油圧クローラドリルが正しいという認識でよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。
28	参考図23/40 避難連絡坑施工次第図 (3) の中段[制御発破工法]において、ホイールジャンボと油圧クローラドリルが図面中にありますが、油圧クローラドリルが正しいという認識でよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。

番号	質問事項	回答
29	参考図25/40 避難連絡坑施工次第図(5)の中段[制御発破工法]において、ホイールジャンボと油圧クローラドリルが図面中にありますが、油圧クローラドリルが正しいという認識でよいかご教示願います。	ご認識のとおりです。
30	参考図4/40 工事工程表(参考図)で示された平均月進について、避難連絡坑の割岩工法において、例えばCI-K-S1とCI-K-S2が同じ15m/月となっています。これらは断面積が異なるうえ、補強吹付の有無により、サイクルタイムが200分以上異なると考えられます。月当りの進行長の算出根拠をご教示願います。	サイクルタイムは公表致しませんので、貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
31	参考図20/40 坑口処理工図(2)(参考図)において、やらずのサイズが正面図、縦断図、数量表でそれぞれ違います。どれが正しいかご教示願います。	H-200×200 L=6,500が正となります。
32	公表された東占冠TN詳細設計資料「第3編 施工計画・仮設備計画書」p.2-9の運転可能距離坑内延長について、本資料は計算が間違っており、正しくは「N=3台の時L=345mまで、N=4台の時L=845mまで、N=5台の時L=1345mまで、N=6台の時L=1845mまで、N=7台の時L=2345mまで、N=8台の時L=2845mまで」であるとの認識でよいかご教示願います。	設計図書以外の質問についてはお答えできません。
33	割掛対象表参考内訳書3/5のダンプトラック運転費について、参考図4/40 工事工程表(参考図)と上記の内容を考慮すると、運転労務(48.5ヶ月)は60ヶ月以上になると思われます。ご確認をお願いいたします。	割掛対象表参考内訳書に記載の内容を想定しています。
34	【参考図10/40 仮設備配置計画図(参考図)】において、濁水処理設備の処理能力が「機械式60m <sup>3</sup> /h」と記載されています。一方、【特記仕様書62頁 28-15-5 汚濁水処理工】においては「ポータル型30m <sup>3</sup> /h」と記載されています。どちらが正しいのかご教示願います。	ポータル型 30m <sup>3</sup> /hが正となります。
35	設計図⑧10/14 付替道路吹付のり枠工詳細図において、吹付のり枠の表面コテ仕上げは、二面仕上げ・三面仕上げ・仕上げ無し いずれでしょうか。	吹付のり枠の表面コテ仕上げは、仕上げ無しとなります。
36	2、3、4号補強土壁工における基礎工H(F)は基礎材有となっていますが、その仕様が記載されていません。基礎工A(F)、B(F)と同様RC-40と考えて良いでしょうか。異なる場合、材料の仕様をご教示願います。	ご認識のとおりです。

番号	質問事項	回 答
37	<p>コルゲートパイプカルバートは全てパッキングを行わないと考えてよろしいでしょうか。 パッキングを行う場合、パッキング箇所・延長をご教示願います。</p>	<p>パッキングは円周方向継手部、軸方向継手部への設置を想定しています。</p>
38	<p>特記仕様書p49に「押出ポリエチレンフォーム保温板（XPS）1種b」とありますが、「押出ポリスチレンフォーム保温板（XPS）1種b」と考えてよろしいでしょうか。 また、吸水量規格値として「0.01g/100cm<sup>2</sup>以上」とありますが、「0.01g/100cm<sup>2</sup>以下」ではないでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
39	<p>数量表に、「裏込材B」「凍上抑制層」「中詰土」「水切」「水抜きパイプ」「舗装工」の数量が示されていますが、どの単価項目に計上するかご教示願います。 また裏込材B、凍上抑制層、中詰土の材料の仕様についてご教示願います。</p>	<p>裏込材Bは、道路掘削 軟岩とずり処理工A1、A2を想定しています。 凍上抑制層及び中詰土（非凍上性材用）は、盛土工A4を想定しています。 水切は、関連する型わくCに含まれます。 水抜きパイプは、割掛項目 構造物水抜穴費に含まれます。 舗装工は、率計上項目 簡易舗装工 切込砕石路盤工となります。 なお、材料仕様は、土木施工管理要領と特記仕様書 17-1 盛土材を確認願います。</p>
40	<p>4号補強土壁工の調整コンクリートのC2-1と鉄筋Aは、単価項目8-(1) コンクリートC2-1および8-(3) 鉄筋Aではなく、4-(24) 4号補強土壁工に計上されると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
41	<p>「仮設構造物工に使用する材料は設計図書に示すもののほか中古品の購入材（プレート、ボルト・ナットは除く）」との記載がありますが、撤去後その他材料はスクラップ処分する、と考えてよろしいでしょうか。 異なる場合は、処分方法をご教示願います。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
42	<p>【設計図 附帯工 2/9】 基板排水層A t=100cmに使用する材料は、購入材で設計要領に記載の割栗石でよろしいでしょうか。</p>	<p>特記仕様書17-1に示す材料を想定しています。</p>

番号	質問事項	回答
43	<p>【特記仕様書P44 補強土壁、設計図 のり面工 17/27 3号補強土壁工 数量表】  特記仕様書では、補強土壁工の背面に用いる盛土材は、盛土工A3による購入材のうち、良質な材料を使用するとあります。  一方、設計図 補強土壁工の数量表 土工 補強土壁盛土 10818.6m3には、規格・寸法の欄に仕様が無記載です。  特記仕様書のとおり、10818.6m3の盛土は購入材を予定されているのか、あるいは現地発生材を予定されているのか教えていただけませんか。</p>	<p>現地発生材を想定しています。</p>
44	<p>特記28-15-1 鋼アーチ支保工 内容において（高規格材仕様）とありますが、どのような材料でしょうか。  規格値等を、ご教示ください。</p>	<p>トンネル施工管理要領 3. 鋼アーチ支保工をご確認願います。</p>
45	<p>特記仕様書P71 28-24 率計上工事に関する事項の28-24-1(2)に『当初契約は、率計上に用いる単価表の項目は諸経費①による項目のうち、単価表の番号（1～216）の金額合計に対して4%を一式計上するものとする』との記載ですが、単価表の番号（1～216）の金額合計とは割掛工事費を含んでのものでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
46	<p>ずり処理工のトンネルずりの地山等級は、第3 紀のC、D と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>地山等級は第3紀ではないC（CI・CII）及びD（DI・DII）を想定しています。</p>